

小学校第4学年英語活動学習指導案

日時 平成25年10月22日(火)

指導者 4年担任 教諭 廣田恭子

ALT ティモシー・カーニュ

1 単元名 わたしはだれでしょう

2 単元について

(1) ねらいについて

本単元では、友達の好きなものを尋ねたり答えたりする活動で得た情報をもとに、Who am I? クイズを行う。お互いの好きなものを伝え合う活動は、児童の「伝えたい」「聞きたい」という意欲を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることにつながると考える。さらに、お互いの好きなものを伝え合う活動は、友達の新しい一面を知り、他者理解を深めるきっかけにもなるであろう。

また、好きなものを伝え合う活動後に行う Who am I? クイズは、友達の誰かになりきって「わたしはだれでしょう」と問題を出したり、ヒントをもとに答えが誰なのかを考えたりするなど、児童の興味をおおいにかき立てる活動になると考える。

取り上げる言語材料は、児童がこれまでに慣れ親しんできた果物、色、スポーツなどの英語を使用する。第5学年の外国語活動でも扱うこれらの英語に段階を追って慣れ親しませることは、中学年の英語活動を高学年の外国語活動に円滑につなげる上でも効果的であると考え、本単元を設定した。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は男子13名、女子13名(うち3名は特別支援学級在籍)、合計26名である。

英語活動に関する意識調査は、次のとおりである。〈平成25年7月18日調査〉

英語活動は楽しい。	100% (26/26人)
英語活動で、友達のことを知ったり自分のことを伝えたりする活動は楽しい。	100% (26/26人)
英語活動でよく聞いたり話したりしている。	96% (25/26人)
外国語や外国の文化についてもっと知りたい。	100% (26/26人)

意識調査の結果から、すべての児童が英語活動を楽しんでおり、興味・関心を持って取り組んでいることが分かる。その理由として、「英語の歌やダンス、ゲームが楽しいから」「いろいろな英語が分かるから」などを挙げており、活動そのものの楽しさを実感していると考え。さらに、「ジェスチャーなどを使って友達と挨拶することが楽しい」「友達の好きなものや苦手なものが分かるから」「友達や先生ともっと仲良くなれるから」「みんなも笑顔だから」などの理由も挙げており、他者とコミュニケーションを図る楽しさを実感していることも分かる。

(3) 指導にあたって

- 日本語（外来語）との音の違いに気付き、英語の音に慣れさせるために、チャンツやゲームなどを取り入れ、楽しみながら英語の音に親しませる活動を行う。
- 発話への自信を徐々に高めるために、会話のやり取りに必要な表現に慣れ親しませる際には、ゲーム等を取り入れながらペアやグループで教え合ったり、確認し合ったりする場を設定する。
- 活動への関心・意欲を高めるために、単元の導入段階において、「友達と好きなものを伝え合い、『わたしはだれでしょう』クイズを楽しもう」という活動のゴールを知らせる。
- 単元の目標に向けて取り組ませるため、毎時間の授業の最初に本時のめあてを確認し、最後にはそのめあてを意識した振り返りを行わせる。
- 会話のやり取りの中で、Eye contact, Clear voice, Smile, Good gestureなどを意識して相手に分かりやすく伝え合っている児童を紹介する。
- 児童の自己評価力を高めるため、友達の良さや頑張りを具体的に認め合う場を設け、より良いコミュニケーションとするための4つの視点に沿った助言を行っていく。

ICT活用のポイント

①教師の活用

- ・児童の活動への意欲を高め活動に取り組ませるため、電子黒板を使った自作の Who am I ? クイズの問題を提示する。

②児童の活用

- ・ Who am I ? クイズ出題のための自分や友達の発表の様子を、タブレット端末を活用して動画で撮影し振り返ることにより、友達の良さに学び、また、自分の発表をさらに高めるために必要なことを明確につかむ。

3 単元の目標

- 友達に好きなものを尋ねたり答えたりする活動や Who am I ? クイズを通して、コミュニケーションを図ることを楽しむ。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・進んで友達にインタビューして、好きなものを尋ねたり答えたりしている。	・ What ～ do you like ? / I like ～. という表現に慣れ、好きなものを尋ねたり答えたりしている。	・ 身近なものを表す英語と日本語（外来語）の共通点や相違点に気付いている。

5 指導計画及び評価基準（3時間取扱い）

時	学習活動	指導上の留意事項	コ	慣	気	評価基準・評価方法
1	○果物、色、スポーツの英語や What ～ do you like ? /I like～. を使った会話表現に慣れる。	・児童に単元のゴールを知らせ、活動への意欲を高める。 ・絵カードを見せながら発話させ、身近なものを表す英語と日本語(外国語)との共通点や相違点に気付かせる。 ・ゲームを通して、What ～ do you like ? /I like～. の会話表現を繰り返し楽しく発話させる。		○	○	・身近なものを表す英語と日本語（外国語）との共通点や相違点に気付いている。 【観察・自己評価シート】 ・ What ～ do you like ? /I like～. の会話表現に慣れ、好きなものを尋ねたり答えたりしている。 【観察・自己評価シート】
2	○ What ～ do you like ? /I like～. の会話表現を使い、好きなものをインタビューし合う。	・より良いコミュニケーションとなるよう、Eye contact, Clear voice, Smile, Good gesture を意識させる。	○			・進んで友達にインタビューして、好きなものを尋ねたり答えたりしている。【観察・自己評価シート】
3 本時	○Who am I ? クイズ大会をする。	・教師自作のクイズ問題を提示し、活動への意欲を高める。 ・分かりやすい発表にするために、クイズ出題の際にも Eye contact, Clear voice, Smile, Good gesture を意識させる。	○			・より良いコミュニケーションとなるよう、Eye contact, Clear voice, Smile, Good gesture を意識してクイズの受け答えをしている。 【観察・自己評価シート】

6 本時の展開

- (1) 目標 Eye contact, Clear voice, Smile, Good gesture を心掛けながら、Who am I ? クイズを楽しむ。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問（T） 予想される児童の反応（C）	指導上の留意点・評価	備考 ICT活用
導入 7分	1 始めの挨拶をする。 2 ダンシングリッシュ（英語体操）をする。 3 前時までに学習した表現を使ってチャンツをする。	・児童とともに笑顔で活動し、児童の意欲を高める。 ・変化のある繰り返しにより、楽しみながら発話させる。	CDプレーヤー リズムボックス 絵カード 吹き出し
	めあて Eye contact, Clear voice, Smile, Good gesture を心がけながら、“わたしはだれでしょう” クイズを楽しもう。		
展開 30分	4 Who am I ? （わたしはだれでしょう）クイズ大会の進め方を知り、出題の際に心掛ける点を確認する。 (T)分かりやすいクイズにするため、心掛けることを考えましょう。 (C)はっきりした声で言います。 (C)笑顔の方が楽しくなるなあ。 (C)ジェスチャーを付けたら、もっと分かりやすいよね。 5 3～4人のグループでアドバイス合って、出題の練習をする。 (T)タブレットのカメラで撮影しながら、お互いにアドバイスをしましょう。 (C)もう少しはっきり話すと、もっと分かりやすくなるよ。 (C)ジェスチャーも付いていて、分かりやすいし楽しいよ。 6 8つのグループが1題ずつ出題しながら、クイズ大会を行う。 (T)問題を出すときも答えを発表するときにも、Eye contact, Clear voice, Smile, Good gestureを心掛けましょう。 (C)え？ この問題の友達って誰だろう？ (C)へー！ ○○さんはそれが好きだったの！ 初めて知ったよ！	徹底指導（ポイント） ①より良いコミュニケーションとするための視点として、以下の4点を提示する。 ・Eye contact ・Clear voice ・Smile ・Good gesture 能動型学習（ポイント） ①撮影した動画を一時停止したり繰り返し再生したりして、より良いコミュニケーションとするための4つの視点ができているかグループで話し合わせる。 ②出題するときも答えを発表するときにも、より良いコミュニケーションとするための4つの視点を心掛けさせながら、クイズを進める。 ③全体の半分のグループからの出題が終わった時点で中間評価の場を設け、友達の良さを振り返る。 ◆関心・意欲・態度（観察） B基準より良いコミュニケーションとするための視点を心掛けながら、Who am I? クイズに取り組んでいる。 A基準 発表の様子に大きな変化が見られる。または、友達への複数の的確なアドバイスができている。	電子黒板 教師作成によるクイズ タブレット端末（1グループ3～4人に1台、全部で8グループ）

	【言語活動】（設定の意図） 前時のインタビューを通して得た情報をもとに友達に関するクイズを行う中で、友達の新しい一面に気付かせたり、他者とコミュニケーションを図る楽しさを感じ取らせたりしたい。	＜B基準に達していない生徒への手立て＞ ○より良いコミュニケーションとするための4つの視点の中で、1つでもよいから心掛けるよう助言し、それを達成したらおおいに賞賛する。	
終 末 8 分	7 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。 8 終わりの挨拶をする。	○本時のめあてを振り返り、めあてを意識しながら振り返りを行わせる。 ○児童には友達や自分の頑張りや学習の感想を出し合わせ、教師も本時の学習における児童の良さを伝え、今後の英語活動への意欲を高める。	自己評価シート